

# 梅毒の追加調査に係る報告方法について

---

# 診断から届出までの流れ

## 感染症サーベイランスシステムで報告する場合

- ① 患者へ追加調査について説明し協力を依頼(同意書不要)
- ② 協力の可否について発生届の下段へ記載(協力不可の場合は調査票の提出は不要)
- ③ 協力可能な場合は、調査票の内容について聞き取り  
※可能な限りすべての項目を確認  
本人が回答を拒む内容については無理に聞き取らず空欄で回答
- ④ 発生届に必要な内容(症状や感染経路等)を入力
- ⑤ 調査票の内容については、感染症サーベイランスシステムに入力する項目が無いいため、県ホームページに掲載されている「入力用ひな型(Word)」の内容をコピーし、発生届の「13備考(医療機関用)」欄へ貼り付け、該当項目以外は削除

# 梅毒

報告日時点の様式表示中

報告日時点の様式表示

過去の報告項目全てを表示

ID情報

個票印刷

変更履歴

業務ステータス：確認済

ページ内リンク

診断時の年齢

## 12 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

自由記述

妊娠の有無(女性のみ)

有(週)

無

不明

## 13 備考

医療機関用

こちらに貼り付け

保健所用

# 記載例

## 【事例】

- ・ 長崎市内に住む日本人の大学生
- ・ 保健所で検査を受けたところ梅毒陽性となり、陰部にしこりが出現したため受診。
- ・ 過去に性感染症に罹患したことはない。
- ・ 同じ大学に 恋人がおり性的接触あり。 また、3か月前に 県外の性風俗を利用 している。
- ・ 主治医から本人へ恋人も受診するよう指導。

## 13 備考

医療機関用

- 調査への協力
    - 1 有
  - 居住地
    - 1 県内（長崎市）
  - 国籍
    - 1 日本
  - 職業
    - 2 学生
  - 受診（検査）理由 ※複数回答可
    - 1 有症状
    - 5 保健所の検査で陽性
  - 性感染症の罹患歴 ※複数回答可
    - 1 なし
  - 性的接触のあった相手 ※複数回答可
    - 1 特定のパートナー（配偶者や恋人）
    - 3 性風俗産業従事者
  - 保健所への連絡事項等
- 恋人も梅毒検査を受けるよう本人へ指導した

# 診断から届出までの流れ

## FAXで報告する場合

- ① 患者へ追加調査について説明し協力を依頼(同意書不要)
- ② 協力可能な場合は、調査票の内容について聞き取り
  - ※可能な限りすべての項目を確認
  - 本人が回答を拒む内容については無理に聞き取らず空欄で回答
- ③ 発生届および調査票を管轄保健所へFAXで提出